



Title	本研究会の活動（2005年10月～2006年3月）
Author(s)	
Citation	詞林. 2006, 39, p. 86-86
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/67551
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

本研究会の活動（2005年10月～2006年3月）

第173回 10月15日（土）

「宮仕へ」する昔男

—『伊勢物語』における機能—

『大鏡』における一条摂政家と中関白家

木下 美佳

石原のり子

第174回 11月27日（日）

『久安百首』四季歌の歌材と構成

細川知佐子

—俊成・頭輔・崇徳院をめぐって—

中山 真弓

『菅芥集』の願主と菅原為長

陳秉珊

中井 賢一

『菅芥集』の願主と菅原為長
—八条院三位局および中原三兄弟関係の願文を中心にして—

白 雨

門屋 敦

村山 镇西

中山 美佳

一磨

識

第175回 12月17日（土）

『徒然草』における「孔子」と「顔回」

夕霧

太政大臣予言の論理

—『徒然草』第二百十一段を中心に—

第176回 2月4日（土）

女三宮の仏道修行について

—「何心なし」から「一心不乱」まで—

『平家物語』における園城寺の描写について

門屋 敦

村山 镇西

中山 美佳

一磨

識

第177回 3月4日（土）

詞書「思ひづく」考
『土御門院御集』の研究

残存聖教から見る笠置寺

宗祇説のゆくえ

—宗祇・三条西家流古典注釈と室町後期の歌学—

海野 圭介